

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>  
E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町8-25  
TEL 087-825-0350  
FAX 087-851-0699

## 2月6日は「海苔の日」

香川県海苔養殖研究会は、2月6日の「海苔の日」を中心に、県産海苔の消費普及を図るため、平成20年度に獲れた一番海苔約10万食分の味付け海苔を県下の学校給食実施校に提供しました。

また、海苔研の正副会長並びに委員と海苔検査員他関係者が県内5地区の小学校5校を訪問し、香川県の海苔養殖について説明し、地元で獲れた海苔の消費拡大を推奨しました。



挨拶する森海苔研会長



児童に海苔について説明する県漁連岡谷氏

2月6日は高松市立鶴尾小学校、9日さぬき市立津田小学校、10日三豊市立詫間小学校、18日小豆島町立池田小学校、27日は丸亀市立栗熊小学校で開催しました。出席者は生徒と一緒に給食を食べ

交流を図り、「海苔はどれくらい獲れるのか」「海苔は焼くとなぜ緑色になるのか」「香川県では海苔養殖はいつごろから始まったのか」などの質問が出され、返答に困る場面もありましたが、生徒たちからは「おいしい」という高い評価が得られました。海苔研としては、今後もこの事業を継続して行くとともに、いろいろな場を利用して「香川のり」をアピールしていく予定です。

## 漁村男女共同参画推進研修会開催

2月26日（木）午後1時30分より漁連会館6階大会議室において、漁協関係者約50名が参集し、漁村男女共同参画推進研修会が開催されました。主催（香川県、香川県漁業協同組合連合会、香川県信用漁業協同組合連合会、（社）香川県水産振興協会）

活動事例発表では、男木島漁業協同組合女性部部長河原久美子氏より「島のおそうじ、かあさん奮闘中～灯を燈し続けて幾年月、さらにこれからも～」と題して男木島における女性部が清掃活動を始める動機、活動を継続していくまでの苦労や、清掃活動と共にに行っている地域活性化についての発表がありました。なお、河原氏は3月5日、6日に東京で開催される第14回全国青年・女性漁業者交流大会においても同活動内容を発表されます。



活動発表する河原氏

次に交流学習では、「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の改正」についての説明と「ライフジャケ

ットの着用推進」についての説明が、高松海上保安部警備救難課救難係長松内啓二氏、救難係主任竹田政彦氏より行われました。「ライフジャケットの着用推進」ではライフジャケットの種類、使い方等を会場の参加者をモデルに説明を行いました。



参加者をモデルにライフジャケットの説明

## 学生募集

**平成21年度 第70期**

### 全国漁業協同組合学校

JF（漁協）を担う若きリーダーを育む

修業年限 1年・全寮制 定員50人（男女共学）

願書受付 第3回

平成21年1月19日～平成21年3月13日

入学選考 第3回

平成21年3月19日

各都道府県漁連・県漁協

連絡先 全国漁業協同組合学校

〒277-0854

千葉県柏市豊町1-4-5

TEL 04-7144-8125

FAX 04-7145-5003

<http://www.jf-net.ne.jp/kumiaigakkou/>

入学願書ご希望の方は本校に連絡ください

## 香川県の県立高校で唯一食物科のある観音寺中央高校のオススメレシピ

### アジのハンバーグ



#### 材料（4人前）

アジ	2尾 (160g)	(ポン酢)
たまねぎ	60 g	濃口醤油 大さじ1
卵・牛乳	各大さじ2	レモン汁 大さじ1
パン粉	大さじ3	みりん 少量
A: 醤油	小さじ1	
A: おろししょうが・塩・こしょう	少量	
大根	100 g	
細葱	少量	

\*つけあわせ…しめじ、まいたけ、エリンギ、マッシュルーム等のきのこ

#### 作り方

- ①アジは3枚におろして中心の小骨を骨抜きでぬいておく。包丁で細かくたたく。
- ②たまねぎは、みじん切りにしてフライパンで炒める。
- ③たまねぎが冷えたらアジとませ、パン粉、卵、牛乳をいれてよくませ、Aの合わせ調味料を入れる。
- ④③を丸く形作りをしてフライパンに油少量をひいて焼く。
- ⑤アジのハンバーグの上に大根おろし、小口切りしたねぎをのせ、ポン酢を添える。
- ⑥きのこは、油で炒めて、塩・こしょうをして、皿につけあわせる。

### 主な行事予定 (3/1～3/31)

3月 5日(木) 第8回ノリ共販

12日(木) 第9回ノリ共販

30日(月) 第10回ノリ共販

26日(木) 第8回理事会

## 平成20年香川県海域の海難及び人身事故の発生状況

**平成20年4月1日より、航行中の小型漁船に  
1人で乗船して漁ろうに従事する場合、ライフ  
ジャケットの着用が義務となっています！**



高松海上保安部がまとめた平成20年の香川県海域の海難発生状況は下記のとおり。

### 1 船舶海難の発生状況

海難の隻数は、96隻で平成19年の31隻と比較すると15隻の増加となった。

また、海難による死亡者数は5人（衝突、転覆、浸水）で、前年1人に比べ4人の増加となった。

#### (1) 船舶種類別の発生状況

プレジャーボート36隻（前年32隻）、漁船26隻（前年21隻）、貨物船20隻（前年16隻）、その他7隻（前年3隻）、タンカー6隻（前年7隻）の順となっており、最も多いプレジャーボートは前年と比較すると4隻増加し、全体の約37%（前年39%）を占めている。また、一般的に小型船と称されるプレジャーボートと漁船の合計は、62隻（前年53隻）であり、全体の64%（前年65%）を占めている。

#### (2) 海難隻数の傾向

ここ数年の海難隻数は隔年毎に増減しており、平成20年は過去10年で最も海難隻数が少なかった平成18年を28隻上回っており、また過去5年間では最も多い年となり、過去10年間の平均約89隻と比較しても7隻多い。

過去10年の船舶種類別の海難発生状況（単位：隻）

	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
貨物船	22	16	19	22	16	17	20	11	16	20
タンカー	7	8	7	4	2	3	5	5	7	6
旅客船	0	1	1	2	1	1	2	0	1	0
プレジャー	35	27	52	54	45	18	25	23	32	36
漁船	19	21	23	29	17	20	35	16	21	26
遊漁船	0	2	2	1	0	0	0	0	1	1
その他	9	3	13	3	7	10	3	13	3	7
合計	92	78	117	115	88	69	90	68	81	96

#### (3) 海難種類別の海難発生状況

衝突37隻（前年27隻）、乗揚げ14隻（前年22隻）、機関故障13隻（前年8隻）、運行阻害8隻（前年7隻）、転覆7隻（前年0隻）、浸水7隻（前年2隻）の順で、衝突が全体の約40%を占めている。

## 過去5年の海難種類別の海難発生状況（単位：隻）

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
衝突	32	31	17	27	37
乗揚	13	17	18	22	14
機関故障	9	11	8	8	13
推進器障害	3	5	3	3	5
浸水	2	2	4	2	7
火災	1	16	7	5	1
舵障害	0	0	1	2	0
転覆	1	0	2	0	7
爆発	3	0	1	0	1
運航阻害	2	2	4	7	8
安全阻害	0	4	1	2	1
その他	3	2	2	3	2
合計	69	90	68	81	96

※運航阻害：バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流をいう。

## (4) 船舶海難の分析

- ① 海難隻数は、前年に比べ15隻増加しており、船種別においても、全体的な増加が目立っている。最も海難隻数の多いプレジャーボートの海難要因としては、春先から秋頃までの活動期に台風等の来襲もなく、海上が平穏な状況にあったためと考えられる。また、転覆は前年の0隻に比べ7隻増加しているが、この内6隻については、9月21日に塩飽諸島付近で発生した局地的突風（ガストフロント）によるものであった。
- ② 海難種類別では、衝突37隻が目立っており、この内33隻は操船者の見張り不十分であった。これらは、船舶乗組員の基本的な遵守事項である「適切な見張り」が励行されておれば未然に防げたものである。
- ③ 機関故障については、13隻の内の9隻がプレジャーボートで、日頃からの点検、整備及び発航前点検をしておれば、その大半は防げたものであった。

## 2 人身事故の発生状況

## (1) マリンレジャーに伴う海浜事故の発生状況

事故者数は17人（前年15人）であり、前年と比べ2人増加している。そのうち死亡・行方不明者数は5人（前年4人）であり、前年と比べ1人増加している。

## (2) マリンレジャー以外の海浜事故の発生状況

事故者数は21人（前年27人）であり、前年と比べ6人減少している。

そのうち死亡・行方不明者数は15人（前年23人）であり、前年と比べ8人減少している。

## (3) 船舶海難によらない乗船者的人身事故発生状況

事故者数は28人（前年17人）であり、前年と比べ11人増加している。

そのうち死亡・行方不明者数は12人（前年0人）であり、前年と比べ12人増加している。

## (4) 人身事故の分析

マリンレジャーによる死亡5名のうち、3名は遊泳中の溺死事故であり、2名は磯釣り中に海中転落し溺死したもので、救命胴衣は着用していなかった。